

東海理化、「SBT認定」を取得

株式会社東海理化（本社：愛知県丹羽郡大口町、代表取締役社長：二之夕 裕美）は、気候変動対策における国際機関である「Science Based Targets initiative（SBTi）」より、当社の掲げる温室効果ガス排出削減目標が科学的根拠に基づいていることを認定する「SBT認定」を2025年11月11日に取得しました。当社は今後も、環境に配慮した事業活動を推進し、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

SBT認定は、企業が設定する温室効果ガス排出削減目標がパリ協定の目標に沿った科学的根拠に基づいていることを第三者が認証する制度です。Scope1（直接排出）、Scope2（電力や熱使用などの間接排出）、Scope3（Scope1/Scope2以外の間接排出）を対象にして、国際的な基準で評価されます。



【当社の取り組みと削減目標値】

東海理化では、当社が掲げる温室効果ガス排出削減目標を達成すべく、省エネルギーによる使用エネルギーの低減や生産工場におけるカーボンフリー燃料への代替化、オフサイトPPAによる再エネ比率向上など、カーボンニュートラルの推進と実現に向けた取り組みを継続してまいります。

対象	基準年	2030年度目標	SBT基準
SCOPE1+2（連結）	2023年度	▲50%	▲42%以上
SCOPE3（連結）	2023年度	▲25%	▲25%以上

<参考>

「東海理化グループの環境への取り組み」については[こちら](#)（東海理化 HP）

「SBT認定」の取得企業一覧については[こちら](#)（SBTi 公式 HP）